

地域公共交通活性化・再生セミナー

地域公共交通活性化・再生総合事業が2年目を迎え、実証運行等に取り組む地域が見られるようになる中、管内市町村における地域公共交通活性化の推進に向けた取組の内容や熟度に差が見られるようになっている。

このため、関東運輸局においては、市町村の取組状況に応じ、

第1回：今後総合事業に取り組むことが期待される市町村を主な対象とし、地域公共交通活性化の意義・必要性への理解を深め、新たな取組を促進する(入門編)

第2回：現在総合事業を実施中の市町村を対象とし、ワークショップ形式で情報・ノウハウの共有を図り、今後の取組の改善につなげる(応用編)ことを目的としたセミナーを開催した。

第1回

開催日時：平成21年10月28日(水) 13:00～17:30

開催場所：東京貨物運送健康保険組合会館(東京都新宿区四谷)

セミナー概要

名古屋大学大学院 加藤博和准教授による講演

「地域公共交通再生の重要性とその進め方」

関東内外の取組事例の紹介
・ 京都府 ・ 茨城県日立市
国による支援制度等の説明
(総合事業、道路運送法他)



セミナー結果

73市町村・3県から「93名」が参加

すべての参加者から、加藤准教授の講演をはじめとして

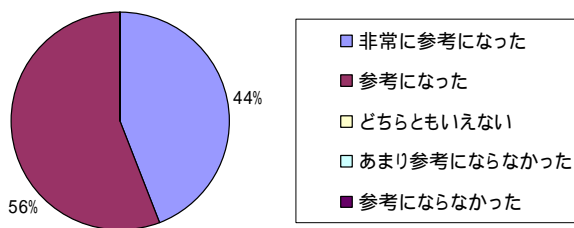
「非常に参考になった(44%) / 参考になった(56%)」

との意見があった。

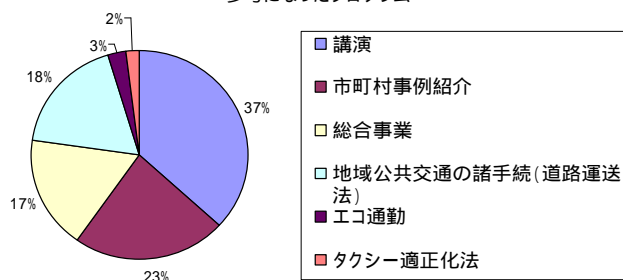
他の地域の事例のほか、総合事業の進め方や道路運送法の手続きについての関心が高かった。



今回のセミナーについて



参考になったプログラム



第2回

開催日時：平成21年12月3日(木) 10:30～17:30

開催場所：横浜第二合同庁舎共用第二会議室

セミナー概要

横浜国立大学大学院 中村文彦教授による講演
「地域公共交通の再生に向けた自治体の役割について」
国による支援制度等の説明(道路運送法他)
班別討議

班別討議概要

参加市町村を課題、取組内容等を考慮して3班に分け、中村教授、国土交通省総合政策局職員、関東運輸局職員を交え、2時間意見交換を実施した。
その討論の結果を班毎に発表し、最後に中村教授より講評をいただいた。

【テーマ】

問題点や苦労した事例とその対応策
多様な関係者との連携、協働のあり方
議論を踏まえて「すぐにやれそうなこと」「時間をかけながら取り組みたいこと」

【参加者からの感想・意見】

- ・これまで接点がなかった近隣以外のいろいろな市町村と、課題や問題点について、認識の共有や情報交換をすることができた
- ・貴重な機会であり、今後の業務・事業執行に役立つと思った
- ・時間が短かったので、2日間行ったり、テーマを絞って行うとより良い

【中村教授からの講評】

非常に活発な意見が飛び交っていて、とても有意義な討議になった。みなさんが対住民、対事業者においていろんな苦労をしていることが聞けた。今後も自治体間での情報の共有、対国との情報共有を行い、それぞれの自治体の課題に反映させていっていただければと思う。



セミナー結果

総合事業に取り組んでいる50地域のうち、「19市町村」が参加

班別討議については、「時間が短かった」(41%)という意見もみられたほどに、活発な意見交換がなされた。また、すべての参加者から「非常によかった(62%) / よかった(38%)」との意見があり、今後もワークショップ形式でのセミナーの開催を望む声が多数得られた。

既に総合事業を実施している市町村においても、道路運送法の手続き等についての関心が高く、手続き面での情報提供は今後も重要である。

